

第1章 新水道ビジョンの策定にあたって

1.1 策定の主旨

近年、人口減少等による水需要が減少し、給水収益が減少するなど、水道事業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっており、今後さらにこの状況が進むことが予想されています。

一方で高度経済成長期に拡張された水道施設が老朽化し、更新時期を迎えているとともに、全国各地でゲリラ的に発生している地震等の自然災害から施設を守る対策の必要性が高まっている状況です。

こうした中、「安全・安心」でおいしい水道水の供給や災害時での「安定」的な給水を行うために、施設の大規模な更新・耐震化が必要となり、その経費がますます水道事業の経営悪化につながる懸念が生じております。

このことから、厚生労働省において平成16年（2004年）6月に水道事業体のあるべき姿として「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」の5つの長期的な政策目標を掲げた「水道ビジョン」が策定されました。

さらに、平成25年（2013年）3月には東日本大震災での体験を教訓として、この「水道ビジョン」の5つの政策目標を「安全」「強靱」「持続」の3つに再編した「新水道ビジョン※」が策定され、50年、100年後の水道事業の理想像や取り組みの方向性、当面の目標などが示されました。

益田市水道部では、これを受けて、市の総合振興計画や国の方針等を踏まえ、これまでの事業の見直しを行い、今後の事業運営の指標となる「益田市新水道ビジョン」を策定することといたしました。

策定にあたっては、老朽化する水道施設の更新需要や大規模地震等に備える耐震化等を考慮に入れ、財政計画の見直しを行い「安全・安心」でおいしい水道水を将来にわたり安定して供給し続ける健全な水道事業運営を目指していきます。

1.2 計画期間と目標年次

「益田市新水道ビジョン」では、現状の分析及び評価、現状の課題を抽出したうえで、目指すべき将来像に向けた具体的な取り組み施策を検討し、それらを明らかにします。

計画期間は、開始年次を平成30年度（2018年度）、目標年次を平成39年度（2027年度）とする10年間としています。



※を付した用語につきましては、巻末の参考資料に用語解説がありますので、ご参照下さい。

1.3 位置づけ

「益田市新水道ビジョン」は、益田市の全体計画である「第5次益田市総合振興計画 後期基本計画」の水道についての基本的な方向性を踏まえた計画として位置づけます。また、厚生労働省が「新水道ビジョン」の推進のため、全国の水道事業体に策定を求めている「水道事業ビジョン」としても位置付けています。

本ビジョンに示した目標は、今後個別計画として具体化を検討するとともに、財政状況や水道利用者のニーズ、社会情勢などの変化を踏まえ、定期的に見直しを行っていきます。

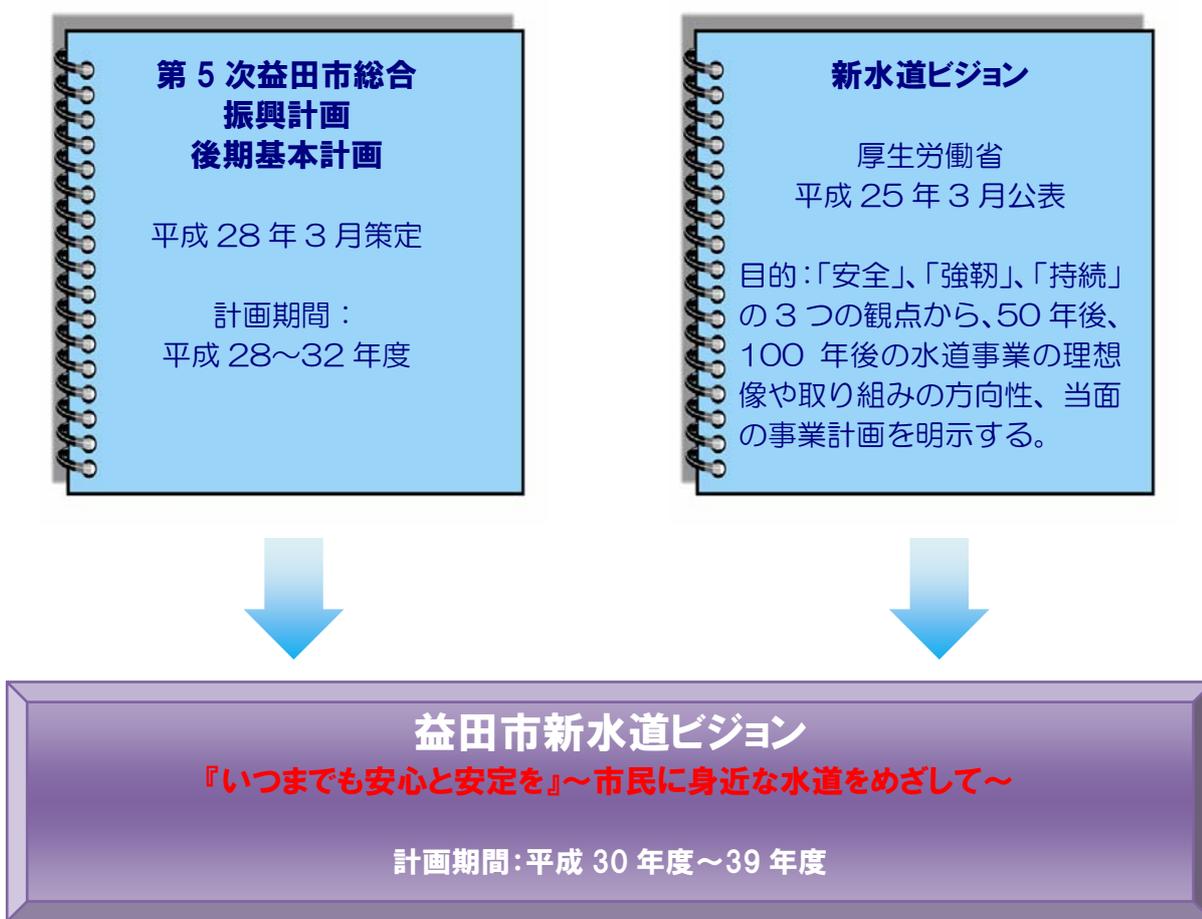


図 1.1 益田市新水道ビジョンの位置づけ